

2026年 第107号

NAGOMI

和田病院情報誌「和み」



令和8年も元気よく！

新年のごあいさつ
前立腺肥大症について

栄養士さんの給食だより
回復期病棟のご案内

謹賀新年

病院長
和田 純治



新年明けましておめでとうございます。
旧年中は当院に格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当院は、1976年に前院長（故 和田浩一氏）が設立し、
今年で創立50周年を迎えます。
半世紀の間、社会情勢・当院を取り囲む地域環境・病院に求められる機能も
大きく変化してきました。人口は緩やかに減少していき、
都市部の人口集中化と地方の過疎化の進行・少子高齢化による労働力の
絶対的な不足・介護人口の増加（2040年まで）の問題が
より顕著になることが予想されます。

これからは、医療の量ではなく質をより求められる時代になると思われます。
当院も本年度から病棟の再編成を行い、回復期リハビリ病棟を増床し、
在宅復帰に向けての取り組みを更に強化していく方針です。
医療の質の一層の向上と新たな挑戦を着実に進めてまいります。

今後も、地域の皆様に信頼される医療機関として、
充実した医療サービスを提供できるよう、職員一同努力してまいります。
本年も、地域医療の一翼を担う病院として、
皆様の健康と安心を支えていく所存でございます。
変わらぬご支援、ご指導をお願い申し上げます。

医療法人信和会 和田病院
院長 和田純治





看護部長

田口万里子

春の日がまぶしく、暖かな日差しの中で心豊かに過ごせる日々となりました。

当法人は本年3月に設立50周年を迎えることができました。
地域の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。宇佐の地で半世紀にわたり、
急性期病棟、回復期病棟、慢性期病棟を有するケアミックス病院として、
急性期から在宅復帰まで切れ目のない医療を提供してまいりました。
また介護老人保健施設や有料老人ホーム、グループホームなどの運営を通じ、
医療と介護の両面から地域を支える体制づくりにも取り組んでいます。

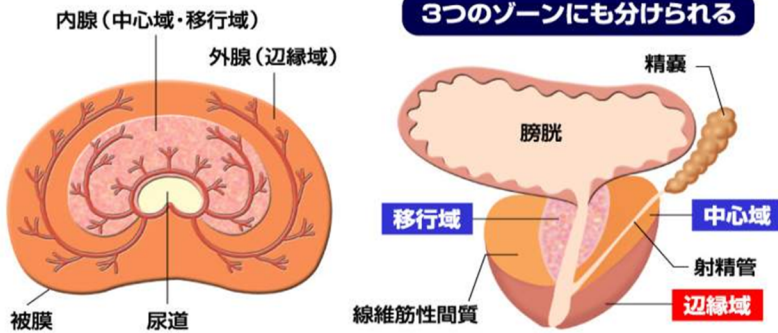
現在当法人では、近年の医療情勢や地域医療構想を踏まえ、
慢性期病棟の一部を回復期病棟へ再編する準備を進めています。
患者様が住み慣れた地域へ一日も早く戻っていただけますよう、
支援体制をさらに強化してまいります。
「この地域にこの病院があってよかった」と感じていただけるよう、
質の高い看護・介護を提供し、
患者様とご家族様に寄り添う姿勢を大切にしていける所存です。

これからの50年も、地域の皆様の健やかな暮らしを支えるパートナーとして、
職員一同研鑽を積んでまいります。
今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人信和会 和田病院
看護部長 田口万里子



前立腺肥大症について



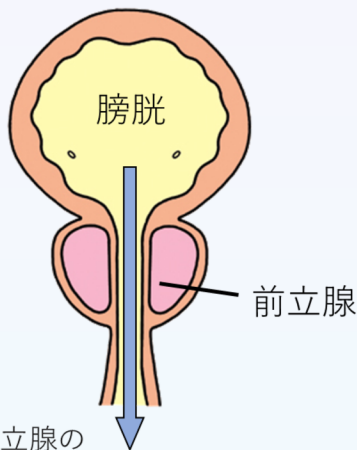
【前立腺とは】

膀胱の下で尿道を取り囲むように存在するクルミ大の臓器です。主な働きは、「精液をつくる、守る、送り出す」ことです。前立腺体積は、加齢とともに増加していきます。

【前立腺肥大症とは】

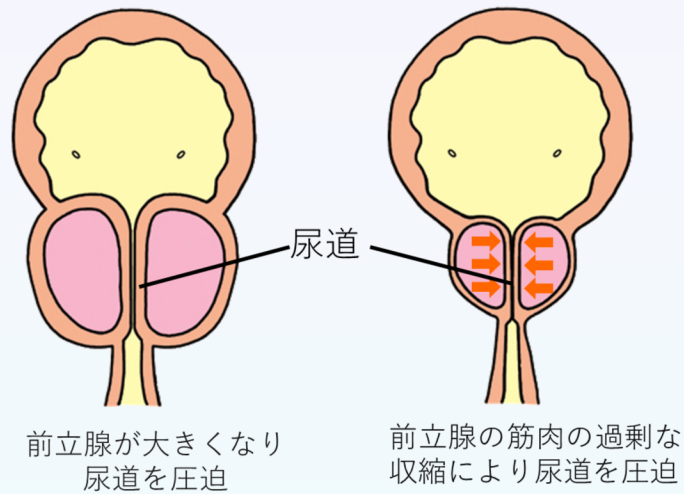
加齢とともに前立腺が大きくなり、尿道を圧迫して排尿トラブルを起こす病気です。50歳以上の男性の5人に1人が症状を抱えていると言われています。

正常



膀胱から前立腺の中を
通って尿が出る

前立腺肥大症



前立腺が大きくなり
尿道を圧迫

前立腺の筋肉の過剰な
収縮により尿道を圧迫



こんな症状があります

排尿後、まだ尿が残っている感じがする
(残尿感)

トイレが近い
(昼間頻尿)

尿が途中でとぎれる
(尿線途絶)

急に尿意をもよおし、もれそうだがまんでこない
(尿意切迫感)

尿の勢いが弱い
(尿勢低下)

おなかに力を入れないと尿が出ない
(腹圧排尿)

夜中に何度もトイレに起きる
(夜間頻尿)

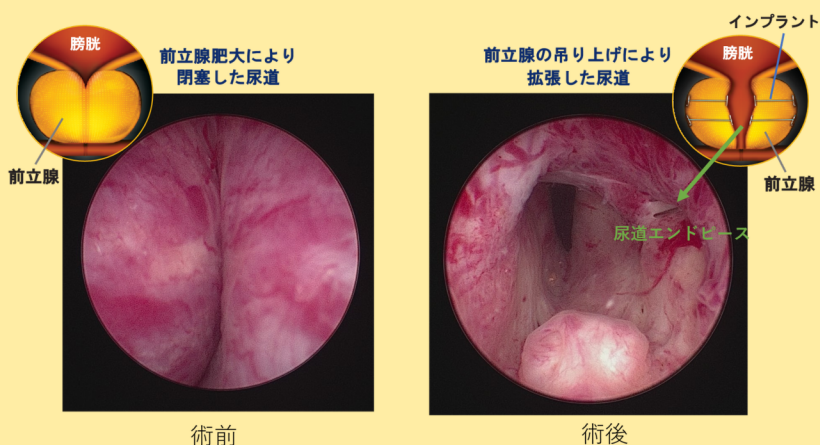


前立腺肥大症の治療

【前立腺肥大症の治療】

薬物療法（内服薬）と手術療法があります。

一般的には、薬物療法からスタートし、十分な効果が得られない時などに、手術療法を検討します。当院では、高齢者や全身状態不良など手術による合併症リスクの高い患者さんを対象として、体に対する負担の少ない内視鏡手術（経尿道的前立腺吊り上げ術）を行っています。



【経尿道的前立腺吊り上げ術】

尿道に内視鏡を挿入し、前立腺組織に金属と糸でできたインプラントを数本埋め込みます。肥大した前立腺組織を糸で牽引、尿道を拡張することにより、前立腺肥大症に伴う排尿症状を改善させます。麻酔は局所麻酔、入院期間は最短で1泊2日です。

気になる症状があったら
お気軽に当院泌尿器科へご相談ください！



給食だより

～栄養の吸収と時間の関係～



春の日差しが暖かく感じられる季節となりました。
皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか？
新生活が始まる方も多いかと思われます。
なれない生活で忙しく、体調も崩しやすい季節です。
そこで、今一度自身の食生活の見直しもおこなってみませんか？
今回は栄養の吸収についてお話させていただきます。

★栄養の吸収を上げる時間帯★



①朝食が1日の中で最も大切！

朝食を食べないで
一日をスタートさせると、
脳のリセットと身体のリセットの
タイミングがずれてしまい、
仕事や勉強の効率も
悪くなってしまいます。

朝食を摂らないと……？

- 肥満・糖尿病・動脈硬化リスク
 - ・空腹のまま昼食を摂ると、
血糖値が急上昇する。
また、血糖値が上がったままの
状態が続く(高血糖状態)。
- 臓器の体内時計をリセットできない
 - ・糖質を含んだ朝食を摂らないと
臓器の体内時計はリセットされない。



②カルシウムは夜の摂取が効果的！

牛乳やヨーグルトを
朝に摂る方も多いのでは？
ですが、
時間栄養学的にみると、
カルシウムの吸収率を上げるのは
夜が効果的です。

カルシウムが不足すると……？

- 骨がもろくなる
 - ・血液中のカルシウムが不足すると、
血液は骨からカルシウムを溶かして
補給する。
骨をもとに戻す成長ホルモンは
睡眠中に分泌されるため、
夜にカルシウムを摂取すると
骨はカルシウムを補給して元に戻る。

できること、できそうなことを少しずつおこなって、
体調管理をしていきましょう！



2026年6月 和田病院は 回復期リハビリ病棟を 26床 → 39床 に増床します

転院時に 当院スタッフによる お迎えサービスを開始

- 転院にあたり当院スタッフによるお迎えが可能になりました。料金は無料です。
- 事前予約制にて、毎週火曜日と金曜日にお受けすることが可能です。
- お迎え予定時間は10:30～11:30 になります。
- 当院の看護師が同乗します。痰吸引患者の対応も可能です。
- ご家族の同乗は必ずしも必要ありません。

回復期リハビリテーション病棟とは

- 急性期治療を終えた後集中的なリハビリ期間を過ごす病棟です。
- 「生活動作」の訓練を重視し食事や歩行など、日常生活をスムーズに送るための練習を行います。
- 在宅復帰のため医師や療法士がチーム一丸となり住み慣れた家への退院を目指します。

当院の特徴

高齢化社会が到来し、リハビリテーションの必要性はますます増加してきています。
当院では皆さんが元気に生活を行う「健康寿命」を延ばせるように、入院・外来で積極的にリハビリテーションに取り組んでいます。

～診療科案内～

- 内科**
- 外科**
- 胃腸科**
- 肛門科**
- 泌尿器科**
- 呼吸器内科**
- 循環器内科**
- 脳神経外科**
- 整形外科**
- 皮膚科 ※休止中**
- リハビリテーション科**
- リウマチ・膠原病内科**

	月	火	水	木	金	土	日
8:30 ～ 12:30	●	●	●	●	●	●	—
14:00 ～ 17:30	●	●	●	●	●	—	—

～交通アクセス～

〒879-1131

大分県宇佐市出光165-1

【JRをご利用の場合】

宇佐駅より徒歩5分

【バスをご利用の場合】

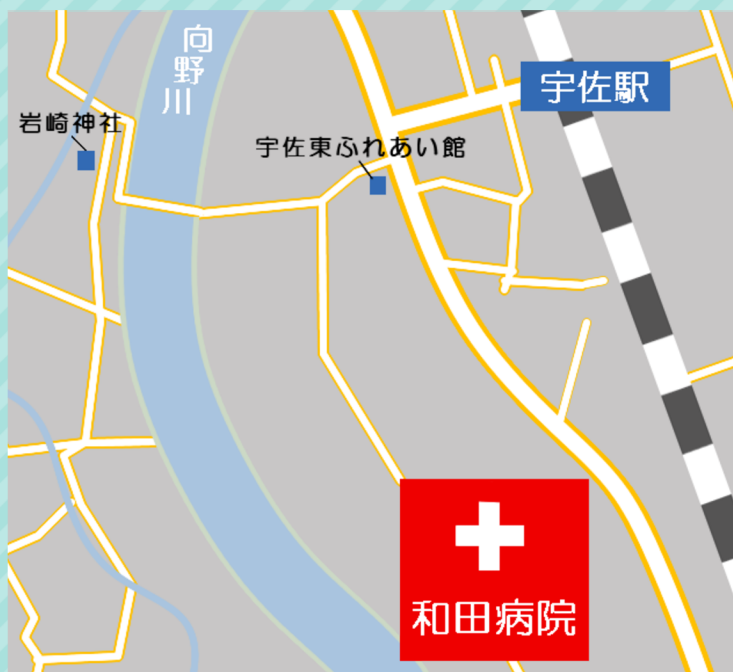
宇佐駅前乗り場より徒歩5分

【タクシーをご利用の場合】

柳ヶ浦駅より10分

豊後高田市街地より5分

オレンジ色の看板が目印です！



表紙写真紹介

豊後高田市の長崎鼻では今年も「いちめんのなのはな」が純銀のモザイクのようにそよ風に揺れていました。もうすっかり春ですね。

～院内情報誌「和み」は地域医療連携室が真心を込めて作成しております～